

野々村 直哉 Naoya NONOMURA 〈B部門 入選〉

滋賀県出身の埼玉都民。システム開発の仕事の傍ら、ピアノを再開したのは22年前。再開当初からウインナワルツが好きで、アマコンでも「ののさんといえばウインナワルツ！」の路線を維持。受賞者演奏会は2年連続2回目。...本日はレハール生誕150周年を記念してレハールの作品を取り上げます。ウインフィルほどの完成度は出ませんが(笑)、お正月のウィーンにいるような楽しいひとときをお届けできれば幸いです。

安孫子 悠 Yu ABIKO 〈B部門 入選〉

これまで三宅麻美氏、北島公彦氏、シャンタル・リウ氏等に師事し、全日本学生音楽コンクール等に入選・入賞。大学では東京六大学ピアノ連盟に所属し、その後は国内外の各種コンサートなどに参加してきました。その間にバリ政治学院修士課程を修了しJICA入構、海外赴任中に博士課程修了、帰国後は外務省に勤務しています。忙中閑ならぬ忙中の忙で大好きなピアノに向き合う日々です。

山田 美樹 Miki YAMADA 〈B部門 第3位〉

大阪大学医学部医学科6年。小2よりピアノを始め、5年のブランクを経て大学入学時に再開。センリア国際音楽コンクールアマチュア部門2位(最高位)、ピエディルーコ国際音楽祭(伊)へ推薦。大阪国際音楽コンクールエクセレンス部門1位、POA部門2位。東京国際ピアノコンクールアマチュア部門最高位。あおによし音楽コンクール奈良一般最上級部門1位、副賞でオケとラフマニノフの協奏曲2番共演。ヤマハヤングピアニストコンサート推薦演奏会金賞。阪大医学部合奏団団長を務めた他、室内楽や作・編曲も行う。

大槻 和乎 Kazuhei Otsuki 〈B部門 第2位〉

今回、受賞出来ましたことを光栄に思います。岡山大学医学部医学科4年。大学では部活と病院等で演奏します。ピアノにおける主な活動は、インターネット上の動画サイトで私が一から編曲したピアノ演奏の投稿です。

佐々木 寛志 Hiroshi SASAKI 〈B部門 第1位〉

秋田県生まれ。6歳よりピアノを始める。社会人6年目。仕事に追われる中、30歳を機に人生について改めて考え、再びピアノと向き合うことを決意。2019年国際アマチュアピアノコンクールB部門第1位、2019年度ピティナ・ピアノコンペティションB1カテゴリー第1位、第20回ショパン国際ピアノコンクール in Asia ショパンピアニストA部門 全国大会金賞・アジア大会奨励賞、日本ピアノ教育連盟 第22回ピアノオーディション高校生部門 全国大会出場。

貴田 葉菜 Hana KIDA 〈A部門 入選〉

山梨県出身。猫好きの獣医師、医学博士。現在は医薬品メーカーにて創薬研究に従事。4歳よりピアノを始め、大学・大学院時代は東京大学ピアノの会主催の演奏会に多数出演。第29回国国民文化祭ピアノフェスティバル出演。社内では有志メンバーによる室内楽演奏会を運営中。私にとってピアノは生涯の研究テーマです。これからも、ピアノとまっすぐ向き合い、ピアノと共に生きていきたいと思ひます。

河本 咲子 Sakiko KAWAMOTO 〈A部門 入選〉

北海道石狩市出身。8歳よりピアノを始める。第20回ヤングアーティストピアノ独奏部門アマチュアグループ銅賞。2012年、2015年国際アマチュアピアノコンクールB部門第3位。2013年、2014年同コンクールB部門入選。2016年同コンクールA部門ファイナリスト賞。2019年同コンクールA部門入選。第9回AMAピアノと歌と管弦のコンクールGm部門 金賞。現在、ピアノを金子一朗氏に師事。

中村 香織 Kaori NAKAMURA 〈A部門 入選〉

徳島大学医学部卒。6歳よりピアノを、37歳よりチェンバロを始める。2007,2008,2010,2011,2012,2013,2014,2015,2016,2017年の国際アマチュアピアノコンクールA部門ファイナリスト、うち2011,2012,2015年の同コンクールA部門入選、2017年の同コンクールA部門第2位。2010年PTNAピアノコンペティション グランミュージーズ部門A1カテゴリー第2位。2013年ロッキーマウンテン・アマチュアピアノコンクール(米国コロラドスプリングス)ファイナリストおよび「古典派賞」「印象派作品賞」受賞。現在ピアノを秋山徹也、金子一朗の各氏に、チェンバロを廣澤麻美氏に師事。

吉村 英二 Eiji YOSHIMURA 〈A部門 入選〉

8年振りにコンテストとして参加させていただきました。アマコンならではのフレンドリーな雰囲気の中、真摯で質の高い演奏と審査の場に身を置かせていただけたのは、やはり得難い経験であったと感じています。審査員の先生方、事務局の皆様方に心より御礼を申し上げる次第です。光栄にも入賞できたのは、的確にご指導くださった先生方と向上心溢れるピアノ友人諸氏のお陰です。これを励みにして、引き続き音楽の多様性と深淵を表現できるような地道に探究していきたいと思ひます。

中村 晃 Akira NAKAMURA 〈A部門 第1位〉

神奈川県横浜市生まれ。現在私立大学教員。布施光代、吉山輝、土橋礼佳の各氏に師事。また大学時代にパイプオルガンを植田義子、岩崎真美子の各氏に師事。大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了。国際アマチュアピアノコンクールA部門にはこれまで8回出場しており、2011年ファイナリスト賞、2012年第3位、2013年第2位、2014年入選、2016年入選、2017年入選、2018年入選、2019年第1位。

名越 敬祐 Keisuke NAGOSHI 〈A部門 第1位〉

福岡県出身、兵庫県在住。9歳よりピアノを始め高校2年生で中断。東京大学に入学後、大学院までオーケストラでトランペットを吹いて過ごす。職業はエンジニアで、電機メーカーで開発チームのマネジメントを担当。ピアノに加えて、子育て・筋トレ・飲酒・哲学・西洋美術などと多数の趣味を持つ。あだ名は「器用貧乏」。今回は、リストの作品の中でも私の愛してやまない「スイス」から、最有名曲、最傑作の2曲を演奏します。

栗本 康夫 Yasuo KURIMOTO 〈A部門 第1位〉

眼科医/医学研究者。世界初のiPS細胞治療の臨床責任者と手術執刀を務めた。ピアノは学生時代に京都大学音楽研究会を中心に演奏活動を行うが卒業後中断。40歳を過ぎてピアノを再開し、以後、PTNAピアノコンクールグランミュージーズB2、A2、およびA1カテゴリー、大阪国際音楽コンクールPOA、いわゆる音楽コンクール、ボストン国際ピアノコンクールで優勝、国際アマチュアピアノコンクールA部門は今回2度目の優勝。

国際アマチュア ピアノ コンクール 2020 開催日程

9月5日(土)、6日(日)	杉並公会堂小ホール(A・B部門 第1次・シニア本選/東日本)
9月13日(日)	三木楽器開成館・大阪(A・B部門 第1次・シニア本選/西日本)
9月19日(土)、20日(日)	杉並公会堂小ホール(A・B部門第2次)
9月26日(土)	紀尾井ホール(A・B部門本選)

